

**EkeCite** - エクサイト - 鉄骨汎用CAD

---

**鉄骨型紙アプリマニユアル**

---

**Ver. 3.52**

# 鉄骨型紙アプリ / 目次

## 第1章 コマンドリファレンス

---

[型作成] ベース型紙 .....	3
[型作成] スライス型紙 .....	7
[型作成] ガセット型紙 .....	11
[型作成] 型紙設定 .....	18

## 第2章 メッセージ一覧

---

型作成 .....	20
-----------	----



## 第1章 コマンドリファレンス

### べ-ス型紙

### 型作成

ベースの型紙を作成します。

四角ベースと円形ベースが作成できます。四角ベースの柱には、H型鋼、コラム、パイプ、マークが指定できます。作成した型紙は型紙ファイルに登録するか、または図面に配置します。なお、型紙は1つのグループになります。図面への配置操作は[複合べ-ス]と同じです。

データ入力 — 図形作成 — べ-ス設定 — …

#### データ入力

[データ入力]ダイアログが開きますので、ベース型紙の作成に必要なデータを設定します。ダイアログの内容と操作は次の通りです。

##### 工事

工事の番号、ロッド番号、名称を設定します。

工事の番号： 工事の番号を入力します。(任意の文字で最大6桁)

ロッド： ロッド番号を入力します。( )

名称： 工事の名称を入力します。ドロップダウンリストには、今までに入力した名称の一覧が最大10個まで表示されます。

##### 型紙

型紙の名称、枚数、板厚を設定します。

型紙の名称： 型紙の名称を入力します。ドロップダウンリストには、今までに入力した名称の一覧が最大10個まで表示されます。

枚数： 型紙の枚数を入力します。

板厚： 型紙の板厚を入力します。

##### 型紙形状

型紙の形状を決める、ベースの種類とその寸法を設定します。

べ-スの種類：

ベースの種類を指定します。ドロップダウンリストに種類の一覧を表示させて、その中から選択します。([四角べ-ス]/[円形べ-ス])

四角べ-ス …… 四角ベースを作成します。ベースの寸法X/Yと中穴径を設定します。

寸法 X： 四角ベースのX方向の寸法を入力します。

## 鉄骨型紙アプリ

- Y : " Y方向の寸法を入力します。  
中穴径 : " 中穴の直径を入力します。  
円形ベース ..... 円形ベースを作成します。ベースの外径、内径、板厚を設定します。  
外径 : 円形ベースの外径を入力します。  
内径 : " 内径を入力します。  
板厚 : " 板厚を入力します。

### 柱

四角ベースのときに、柱の種類とその寸法を設定します。

柱の種類 :

柱の種類を指定します。ドロップダウンリストに種類の一覧を表示させて、その中から選択します。( [H型鋼] / [コラム] / [パイプ] / [マーク] )

H型鋼 ..... H型鋼の柱を指定します。H型鋼の部材寸法とrを設定します。

部材寸法 : H型鋼の部材寸法を入力します。寸法の入力は、先頭に「H」等の鋼材の種類を示す文字を入力できます。寸法は、空白、x X \* / のいずれかで区切って入力します。鋼材マスタを参照するには、[=]または[+]キーを押すか、[...]をクリックするか、この欄をダブルクリックします。[鋼材マスタの参照]ダイアログを参照してください。

r : H型鋼のrの寸法を入力します。鋼材マスタを参照した場合には、マスタのデータが表示されます。

コラム ..... コラムの柱を指定します。コラムの部材寸法とrを設定します。

部材寸法 : コラムの部材寸法を入力します。[H型鋼]と同じです。

r : コラムのrの寸法を入力します。3t(板厚の3倍)の値が表示されます。鋼材マスタを参照した場合には、マスタのデータが表示されます。

パイプ ..... パイプの柱を指定します。パイプの外径と板厚を設定します。

外径 : パイプの外径を入力します。

板厚 : パイプの板厚を入力します。

マーク ..... マークの柱を指定します。マークの横幅と縦幅を設定します。

横幅 : マークの横幅を入力します。

縦幅 : マークの縦幅を入力します。

### ボルト

ボルトの作図に関するデータを設定します。

ボルトを作図する

ボルトを作図するか否かを指定します。チェックするとボルトを作図します。ボルトの配置の設定は、ベースの種類で異なります。

ボルト材 : ボルト材を指定します。ドロップダウンリストにボルト材の一覧を表示させて、その中から選択します。

径 : ボルト径を入力します。また、ドロップダウンリストにボルト径の一覧を表示させて、その中から選択することもできます。ボルト径はボルト図形マスタの図形名を指定します。ボルト径が0(ゼロ)ならばボルトは作図されません。

長さ : ボルト長を入力します。

[ベースの種類:]が[四角ベース]の場合

配置方法 : ボルトの配置方法を指定します。ドロップダウンリストにボルトの配置方法の一覧を表示させて、その中から選択します。

ボルト間隔 X : ボルトのX方向の間隔を入力します。

Y : " Y方向の間隔を入力します。

[ベースの種類:]が[円形ベース]の場合

開始角度 X : 開始ボルト位置の方向のX成分を入力します。

Y : " Y成分を入力します。

配置円周径 : ボルトを配置する円周の直径を入力します。

本数 : ボルトの本数を入力します。

#### 柱の変形

四角ベースのときに、柱の変形(偏心、回転、角度X、角度Y)に関するデータを設定します。

偏心 X : ベースと柱のX方向の偏心(ずれ)を入力します。

Y : " Y方向の偏心(ずれ)を入力します。

回転 X : 柱の回転方向のX成分を入力します。

Y : " Y成分を入力します。

角度X X : 柱のX方向への傾きのX成分を入力します。

Y : " Y成分を入力します。

角度Y X : 柱のY方向への傾きのX成分を入力します。

Y : " Y成分を入力します。

#### 柱またはベースの名称と形状の表示

四角ベースのときは、柱の種類の名前と形状が表示されます。

円形ベースのときは、ベースの種類の名前と形状が表示されます。

#### 加工情報

型紙の加工情報を設定します。

頭文字 : 型紙に作図する加工情報の頭文字を入力します。頭文字が入力されていなければ加工情報は作図されません。入力されていれば以下の加工情報が設定でき「K-10101」のように作図されます。(K- : 頭文字、0 : 無し、1 : 有り)

開先 チェックすると「開先」有りです。

孔 " 「孔」有りです。

曲げ " 「曲げ」有りです。

切板 " 「切り板」有りです。

罫書 " 「罫書き」有りです。

[OK] ..... ベース型紙の図形を作成します。[図形作成]に進みます。

[キャンセル] ..... コマンドを終了します。

### 図形作成

[図形作成]ダイアログが開きますので、ベース型紙の登録または配置に必要なデータを設定します。ダイアログの内容と操作は次の通りです。

#### 型紙記号と型紙図形の表示

型紙記号(工事、プレート、加工情報とボルト)と型紙の図形が表示されます。

#### 作図条件

型紙の作図条件を設定します。

寸法線を作図する

寸法線を作図するか否かを指定します。チェックすると寸法線を作図します。

#### 型紙の登録

型紙の登録に関するデータを設定します。なお、単位重量は7.85が登録されます。[データ入力]ダイアログで設定した、工事番号、ロッド番号、加工情報(開先、孔、曲げ、切板、罫書)も登録されま

す。

型紙を登録する型紙ファイル :

型紙を登録する型紙ファイルの場所と名称が表示されます。型紙ファイルを変更するには、[...]をクリックするか、表示されている型紙ファイルをダブルクリックします。

型紙名 : 型紙の名前を入力します。

枚数 : 型紙の枚数を入力します。

板厚 : 型紙の板厚を入力します。

材質 : 型紙の材質を入力します。

[型紙登録] ..... 型紙を型紙ファイルに登録します。登録後[データ入力]に戻ります。

[型紙ファイル作成] ..... 型紙ファイルを新規作成します。[型紙ファイルの新規作成]ダイアログが開きますので、作成する型紙ファイルを指定します。

[型紙配置] ..... 型紙を図面に配置します。[パース設定]に進みます。

[キャンセル] ..... [データ入力]に戻ります。

パース設定      これ以降の操作は[複合パース]を参照してください。

#### [鋼材マスタの参照]ダイアログ

---

鋼材のデータを鋼材マスタから選択します。ダイアログは上から、マスタの場所、検索寸法、部材寸法一覧、[OK] / [キャンセル] ボタンで構成されています。

マスタの場所      選択する鋼材マスタのある場所(フォルダ)が表示されます。場所を変更するには、[...]をクリックするか、表示されている場所をダブルクリックします。

検索寸法      検索する鋼材の部材寸法を入力します。寸法は、空白、x X \* / のいずれかで区切って入力します。寸法はすべてを入力する必要はありません。寸法を入力後、[Enter],[=]または[+]キーを押すと、入力された寸法に最も近い寸法の鋼材マスタが検索され、表示されます。また、[部材寸法一覧]にもそれが選択状態で表示されます。

部材寸法一覧      鋼材マスタの部材寸法の一覧が表示されます。この一覧をクリックすることで選択状態にすることができます。また、[検索寸法]にもそれが表示されます。一覧内の選択の移動は、矢印キーまたは[Page Up],[Page Down]キーで行います。また、一覧の右側のスクロールバーで一覧をスクロールすることができます。ダブルクリックすると[OK]と同じになります。

[OK]      [部材寸法一覧]で選択状態にある鋼材([検索寸法]にも表示されている)を選択します。

[キャンセル]      選択処理をキャンセルします。

## スライス型紙

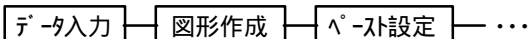
## 型作成

スライスの型紙を作成します。

スライスプレートとフィラープレートの型紙が作成できます。

作成した型紙は型紙ファイルに登録するか、または図面に配置します。なお、型紙は1つのグループになります。

図面への配置操作は[複合<sup>△</sup>-スト]と同じです。

データ入力

[データ入力]ダイアログが開きますので、スライス型紙の作成に必要なデータを設定します。ダイアログの内容と操作は次の通りです。

## 継手データ

作成する型紙の継手のデータを設定します。

## 種類：

梁/柱の種類を指定します。ドロップダウンリストに種類の一覧を表示させて、その中から選択します。継手マスタを参照した場合には、マスタのデータが表示されます。

## 寸法：

梁/柱の部材寸法を入力します。寸法は、空白、x X \* / のいずれかで区切って入力します。

継手マスタを参照するには、[=]または[+]キーを押すか、[...]をクリックするか、この欄をダブルクリックします。[継手マスタの参照]ダイアログを参照してください。

なお、この欄の右のパネルに、梁/柱の種類、部材寸法、ボルト径が整形されて表示されます。

## ボルト：

ボルト径を入力します。また、ドロップダウンリストにボルト径の一覧を表示させて、その中から選択することもできます。ボルト径はボルト図形マスタの図形名を指定します。設定したボルト径が、[フランジ:]、[ウェブ:]の[ボルト径:]にも表示されます。継手マスタを参照した場合には、マスタのデータが表示されます。

## 台数：

継手の台数を入力します。入力した台数に応じて、[フランジ:]の[枚数表:]と[枚数裏:]、[ウェブ:]の[枚数:]が表示されます。継手マスタを参照した場合には、1が表示されます。

## フランジ： / ウェブ：

フランジとウェブのデータを設定します。フランジの[ボルト径:]、[ボルト材:]、[板厚表:]、[すきま:]、[端部:]、[ボルト間:]、[端部表:]、[ボルト間:]を設定すると、フランジ裏およびウェブの対応する欄にも表示されます。継手マスタを参照した場合には、マスタのデータが表示されます。

図名表： 図名を入力します。ドロップダウンリストには、今までに入力した図名の一覧が最大10個まで表示されます。(フランジ表)

図名裏： 図名を入力します。[図名表:]と同じです。(フランジ裏)

図名： " "。(ウェブ)

枚数表： 枚数を入力します。0(ゼロ)ならば図形は作成されません。(フランジ表)

枚数裏： " "。(フランジ裏)

枚数： " "。(ウェブ)

フィラー板厚： フィラープレートの板厚を入力します。0(ゼロ)ならば図形は作成されません。

## 鉄骨型紙アプリ

- ボルト径： ボルト径を入力します。また、ドロップダウンリストにボルト径の一覧を表示させて、その中から選択することもできます。ボルト径はボルト図形マスタの図形名を指定します。ボルト径が0(ゼロ)ならばボルトは作図されません。
- ボルト材： ボルト材を指定します。ドロップダウンリストにボルト材の一覧を表示させて、その中から選択します。
- 板厚表： 板厚を入力します。0(ゼロ)ならば図形は作成されません。(フランジ表)
- 板厚裏： " " " "。(フランジ裏)
- 板厚： " " " "。(ウェブ)
- すきま： 梁/柱間のすきまを入力します。
- 千鳥： ボルトの千鳥配置を指定します。ドロップダウンリストに千鳥配置の一覧を表示させて、その中から選択します。
- ボルト数： 横方向のボルト数を入力します。
- ボルト数： 縦方向のボルト数を入力します。
- 端部： 横方向の端部ボルトまでの距離を入力します。
- ボルト間： 横方向のボルト間隔を入力します。
- 端部表： 縦方向の端部ボルトまでの距離を入力します。(フランジ表)
- 端部裏： " " "。(フランジ裏)
- 端部： " " "。(ウェブ)
- ボルト間： 縦方向のボルト間隔を入力します。
- ボルト間： 上下のボルトの間隔を入力します。

### 作図条件

型紙の作図条件を設定します。

#### 横補助線を作図する

横方向の補助線を作図するか否かを指定します。チェックすると横方向の補助線を作図します。

#### 縦補助線を作図する

縦方向の補助線を作図するか否かを指定します。チェックすると縦方向の補助線を作図します。

### 作図するプレート：

作図するプレートを指定します。ドロップダウンリストにプレートの一覧を表示させて、その中から選択します。([スプライズ プレート]/[フィルター プレート])

### 工事

工事の番号、ロッド番号、名称を設定します。

番号： 工事の番号を入力します。(任意の文字で最大6桁)

ロッド： ロッド番号を入力します。( " )

名称： 工事の名称を入力します。ドロップダウンリストには、今までに入力した名称の一覧が最大10個まで表示されます。

### 加工情報

型紙の加工情報を設定します。

フランジ表： / フランジ裏： / ウェブ：

フランジ表、フランジ裏、ウェブの各型紙の加工情報を設定します。

テキストボックスには加工情報の頭文字を入力します。頭文字が入力されていなければ加工情報は作図されません。入力されていれば以下の加工情報が設定でき「K-10101」のように作図されます。(K-：頭文字、0：無し、1：有り)

開先 チェックすると「開先」有りです。

孔 " 「孔」有りです。

曲げ " 「曲げ」有りです。

## 鉄骨型紙アプリ

切板	〃	「切り板」有りです。
罫書	〃	「罫書き」有りです。

[OK] …… スプライス型紙の図形を作成します。[図形作成]に進みます。

[キャンセル] …… コマンドを終了します。

### 図形作成

[図形作成]ダイアログが開きますので、スプライス型紙の登録または配置に必要なデータを設定します。ダイアログの内容と操作は次の通りです。

#### 型紙記号と型紙図形の表示

型紙記号(工事、部材寸法、プレート、加工情報とボルト)と型紙の図形が表示されます。

#### 型紙の登録

型紙の登録に関するデータを設定します。なお、単位重量は7.85が登録されます。[データ入力]ダイアログで設定した、工事番号、ロット番号、加工情報(開先、孔、曲げ、切板、罫書)も登録されます。

#### 型紙を登録する型紙ファイル :

型紙を登録する型紙ファイルの場所と名称が表示されます。型紙ファイルを変更するには、[...]をクリックするか、表示されている型紙ファイルをダブルクリックします。

#### フランジ表 : / フランジ裏 : / ウェブ :

フランジ表、フランジ裏、ウェブの各型紙の型紙名、枚数、板厚、材質を設定します。

型紙名 : 型紙の名前を入力します。

枚数 : 型紙の枚数を入力します。

板厚 : 型紙の板厚を入力します。

材質 : 型紙の材質を入力します。

[型紙登録] …… 型紙を型紙ファイルに登録します。登録後[データ入力]に戻ります。

[型紙ファイル作成] …… 型紙ファイルを新規作成します。[型紙ファイルの新規作成]ダイアログが開きますので、作成する型紙ファイルを指定します。

[型紙配置] …… 型紙を図面に配置します。[角度設定]に進みます。

[キャンセル] …… [データ入力]に戻ります。

### 角度設定

これ以降の操作は[複合角度]を参照してください。

### [継手マスタの参照]ダイアログ

---

継手のデータを継手マスタから選択します。ダイアログは上から、マスタの場所、検索種類、検索寸法、部材寸法一覧、[OK] / [キャンセル] ボタンで構成されています。

**マスタの場所** 選択する継手マスタのある場所(フォルダ)が表示されます。場所を変更するには、[...]をクリックするか、表示されている場所をダブルクリックします。

**検索種類** 検索する継手の梁/柱の種類を指定します。ドロップダウンリストに種類の一覧を表示させて、その中から選択します。

**検索寸法** 検索する継手の梁/柱の部材寸法を入力します。寸法は、空白 , x X \* / のいずれかで区切って入

## 鉄骨型紙アプリ

力します。寸法はすべてを入力する必要はありません。寸法を入力後、[Enter]、[=]または[+]キーを押すと、指定された種類の中から入力された寸法に最も近い寸法の継手マスタが検索され、表示されます。また、[部材寸法一覧]にもそれが選択状態色で表示されます。

- 部材寸法一覧 継手マスタの部材寸法の一覧が表示されます。この一覧をクリックすることで選択状態色にすることができます。また、[検索種類]、[検索寸法]にもそれが表示されます。一覧内の選択の移動は、矢印キーまたは[Page Up]、[Page Down]キーで行います。また、一覧の右側のスクロールバーで一覧をスクロールすることができます。ダブルクリックすると〔OK〕と同じになります。
- 〔OK〕 [部材寸法一覧]で選択状態色にある継手([検索種類]、[検索寸法]にも表示されている)を選択します。
- 〔キャンセル〕 選択処理をキャンセルします。

ガセットの型紙を作成します。

作成した型紙は型紙ファイルに登録するか、または図面に配置します。なお、型紙は1つのグループになります。図面への配置操作は[複合ペ-スト]と同じです。

データ入力 — 図形作成 — ペ-スト設定 — …

## データ入力

[データ入力]ダイアログが開きます。このダイアログには、[基本設定]ページ、[勾配設定]ページと[その他の設定]ページがあります。[基本設定]ページでは、工事、型紙、大梁と小梁、勾配を付けるか否か、ボルト等のデータを設定します。[勾配設定]ページでは、勾配に関するデータを設定します。[その他の設定]ページでは、型紙の形状に関するその他のデータと加工情報を設定します。ダイアログの内容と操作は次の通りです。

### [基本設定]ページ

工事、型紙、大梁と小梁、勾配を付けるか否か、ボルト等のデータを設定します。

#### 工事

工事の番号、ロッド番号、名称を設定します。

工事の番号： 工事の番号を入力します。(任意の文字で最大6桁)

ロッド： ロッド番号を入力します。( " )

名称： 工事の名称を入力します。ドロップダウンリストには、今までに入力した名称の一覧が最大10個まで表示されます。

#### 型紙

型紙の名称、枚数、板厚を設定します。

型紙の名称： 型紙の名称を入力します。ドロップダウンリストには、今までに入力した名称の一覧が最大10個まで表示されます。

枚数： 型紙の枚数を入力します。

板厚： 型紙の板厚を入力します。

#### 大梁と小梁

大梁と小梁の種類、部材寸法等を設定します。大梁または小梁のデータの設定中は、このページの右下に「大梁」または「小梁」の文字、寸法表記、鋼材の形状が表示されます。

大梁の種類：

大梁の種類を指定します。ドロップダウンリストに種類の一覧を表示させて、その中から選択します。( [H型鋼] / [アングル] / [I型鋼] / [溝型鋼] / [軽量溝型鋼] / [角パイプ] )

部材寸法：

選択した大梁の部材寸法を入力します。寸法の入力は、先頭に「H」等の鋼材の種類を示す文字を入力できます。寸法は、空白、x X \* / のいずれかで区切って入力します。

鋼材マスタを参照するには、[=]または[+]キーを押すか、[...]をクリックするか、この欄をダブルクリックします。[ペ-スト型紙]の[鋼材マスタの参照]ダイアログを参照してください。

r： / r1： / r2：

選択した大梁のr, r1, r2の寸法を入力します。鋼材マスタを参照した場合には、マスタのデータ

が表示されます。

小梁の種類：

小梁の種類を指定します。ドロップダウンリストに種類の一覧を表示させて、その中から選択します。( [H型鋼]/[アングル]/[I型鋼]/[溝型鋼]/[軽量溝型鋼]/[スチワ]/[W アングル]/[W 溝型鋼]/[W 軽量溝型鋼] )

部材寸法：

選択した小梁の部材寸法を入力します。寸法の入力は、大梁の[部材寸法:]と同じです。

入力した小梁のウェブ幅に対応したボルトパターンが表示されます。ボルトパターンは[型紙形状1]の[ボルト材:]から[ボルト間隔 縦:]までの9件のデータで、ウェブ幅と共にボルトパターンマスタに登録されています。登録されていない場合は、0(ゼロ)が表示されます。

r : / r1 : / r2 :

選択した小梁のr, r1, r2の寸法を入力します。大梁の[r:/r1:/r2:]と同じです。

勾配

勾配を付けるか否かを設定します。

勾配を付ける

大梁と小梁に勾配を付けるか否かを指定します。チェックすると勾配を付けます。勾配のデータは[勾配設定]ページで設定します。

型紙形状1

型紙の形状に関するデータを設定します。

小梁上下距離： 大梁に対して小梁が上下する距離を入力します。

[その他の設定]ページの[小梁上下距離と小梁ずれ:]および【図1】【小梁上下距離と小梁ずれ】を参照してください。

上部補強有り ガセットが大梁の上部からとびだす場合に、ガセットの上部を補強した形状にするか否かを指定します。チェックすると補強します。

ボルト材： ボルト材を指定します。ドロップダウンリストにボルト材の一覧を表示させて、その中から選択します。

径： ボルト径を入力します。また、ドロップダウンリストにボルト径の一覧を表示させて、その中から選択することもできます。ボルト径はボルト図形マスタの図形名を指定します。ボルト径が0(ゼロ)ならばボルトは作図されません。

ボルト数 横： 横方向のボルト数を入力します。

縦： 縦方向のボルト数を入力します。

端部距離 左： 左端から端部ボルトまでの距離を入力します。[右:]にも表示されます。

右： 右端から端部ボルトまでの距離を入力します。

縦： 縦方向の端部ボルトまでの距離を入力します。

ボルト間隔 横： 横方向のボルト間隔を入力します。

縦： 縦方向のボルト間隔を入力します。

スカラップ： スカラップの種類と長さを設定します。種類は、ドロップダウンリストに一覧を表示させて選択します([内側]/[外側]/[カット])。長さは、0(ゼロ)ならばスカラップなし、負ならば大梁のrまたはr1と同じになります。

[ボルト登録]・・・ 入力されているボルトパターンをウェブ幅と共にボルトパターンマスタに登録します。[確認]のメッセージボックスが表示されます。[OK]で登録します。

[勾配設定]ページ

勾配に関するデータを設定します。

## 勾配

勾配の種類とその勾配のデータを設定します。

小梁に高さの勾配有り

小梁に高さの勾配がある場合です。小梁の高さの勾配をXとYで指定します。

小梁の勾配 X : 小梁の高さの勾配のX成分を入力します。

Y : " Y成分を入力します。

大梁に高さの勾配有り

大梁に高さの勾配がある場合です。大梁の高さの勾配をXとYで指定します。

大梁の勾配 X : 大梁の高さの勾配のX成分を入力します。

Y : " Y成分を入力します。

小梁に平面の勾配有り

小梁に平面の勾配がある場合です。小梁の平面の勾配をXとYで指定します。

小梁の勾配 X : 小梁の平面の勾配のX成分を入力します。

Y : " Y成分を入力します。

## 寄棟

寄棟の場合です。大梁と小梁の取付位置と寄棟寸法を設定します。

[その他の設定]ページの[取付位置と寄棟寸法:]および【図5】【取付位置と寄棟寸法】を参照してください。

取付位置 : 大梁と小梁の取付位置を指定します。ドロップダウンリストに取付位置の一覧を表示させて選択します。(1~5)

大梁は水平 チェックすると寄棟寸法にかかわらず、大梁は水平になります。

寄棟寸法 横 : 寄棟の横方向の寸法を入力します。

縦 : 寄棟の縦方向の寸法を入力します。

高 : 寄棟の高さ方向の寸法を入力します。

## 型紙形状2

型紙の形状に関するデータを設定します。

納め方向 : 納め方向を指定します。ドロップダウンリストに納め方向の一覧を表示させて選択します。([ガセットが手前]/[小梁が手前])

小梁ずれ : 小梁の向かう点を入力します。

[その他の設定]ページの[小梁上下距離と小梁ずれ:]および【図1】【小梁上下距離と小梁ずれ】を参照してください。

小梁切口形状  $\alpha$  : 小梁の切口の形状を指定します。ドロップダウンリストに切口形状の一覧を表示させて選択します。([直角]/[斜め]) (ウェブ面)

$\beta$  : 同上。(フランジ面)

[その他の設定]ページ

型紙の形状に関するその他のデータと加工情報を設定します。

## 型紙形状3

型紙の形状に関するデータを設定します。

梁間クリア : 大梁と小梁のクリアを入力します。

ガセットクリア有り

ガセットが大梁の上部または下部からとびだす場合に、大梁との間にクリアを取るか否かを指定します。チェックするとクリアをとりずらします。

上部形状 :

ガセットの上部の形状を指定します。ドロップダウンリストに形状の一覧を表示させて選択します。([コナ-]/[ストレート])

この欄の右の図および【図2】【上部形状】を参照してください。

## 鉄骨型紙アプリ

- 下部形状 : ガセットの下部の形状を指定します。ドロップダウンリストに形状の一覧を表示させて選択します。([コナ-]/[ストレート])  
この欄の右の図および【図3】【下部形状】を参照してください。
- ボルトずれ : ボルト中心と小梁とのずれを設定します。ずれがある場合は「有り」をチェックし、ずれの距離を入力します。アングルは小梁の上部から、それ以外は小梁の中心からのずれを入力します。
- ボルト列の方向 : ボルト列の方向を指定します。ドロップダウンリストに方向の一覧を表示させて選択します。([通常(鉛直)]/[小梁に垂直])
- ボルト間の方向 : ボルト間の方向を指定します。ドロップダウンリストに方向の一覧を表示させて選択します。([通常(鉛直)]/[小梁に垂直])
- フランジ 端部からの入込み : ガセットが大梁のフランジ端部から入込む距離を入力します。  
【図4】【端部入】を参照してください。
- フランジ 面とのクリア 上 : ガセットと大梁の上側のフランジ面とのクリアを入力します。  
下 : " 下側のフランジ面とのクリアを入力します。
- コーナーR : ガセットのコーナーのRの寸法を入力します。
- マーク位置 横 : ガセットにマークを付ける横の位置を入力します。  
縦 : " 縦の位置を入力します。

### 加工情報

型紙の加工情報を設定します。

頭文字 : 型紙に作図する加工情報の頭文字を入力します。頭文字が入力されていなければ加工情報は作図されません。入力されていれば以下の加工情報が設定でき「K-10101」のように作図されます。(K-:頭文字、0:無し、1:有り)

開先	チェックすると「開先」有りです。
孔	" 「孔」有りです。
曲げ	" 「曲げ」有りです。
切板	" 「切り板」有りです。
罫書	" 「罫書き」有りです。

小梁上下距離と小梁すれ :

小梁上下距離と小梁ずれを図示します。

取付位置と寄棟寸法 :

寄棟の取付位置と寄棟寸法を図示します。

[ < 前 ] …… 前の図を表示します。

[ 次 > ] …… 次の図を表示します。

[OK] …… ガセット型紙の図形を作成します。[図形作成]に進みます。

[キャンセル] …… コマンドを終了します。

### 図形作成

[図形作成]ダイアログが開きますので、ガセット型紙の登録または配置に必要なデータを設定します。ダイアログの内容と操作は次の通りです。

型紙記号と型紙図形の表示

型紙記号(工事、プレート、加工情報とボルト)と型紙の図形、大梁と小梁の関係図が表示されます。

作図条件

型紙の作図条件を設定します。設定した条件で作図したときの図形が表示されます。

- ガセットのみ作図する …………… ガセットのみを作図します。
- ガセットと大梁を作図する …………… ガセットと大梁を作図します。
- ガセットと大梁・小梁を作図する …… ガセットと大梁、小梁を作図します。
- 寸法線を作図する
- 寸法線を作図するか否かを指定します。チェックすると寸法線を作図します。

#### 型紙の登録

型紙の登録に関するデータを設定します。なお、単位重量は7.85が登録されます。[データ入力]ダイアログで設定した、工事番号、ロット番号、加工情報(開先、孔、曲げ、切板、罫書)も登録されます。

型紙を登録する型紙ファイル：

型紙を登録する型紙ファイルの場所と名称が表示されます。型紙ファイルを変更するには、[...]をクリックするか、表示されている型紙ファイルをダブルクリックします。

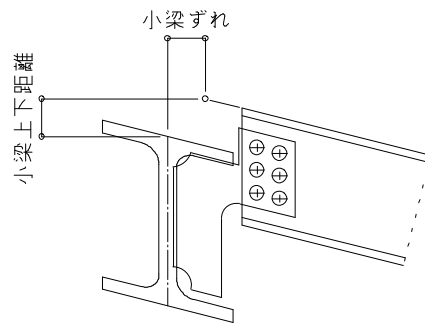
- 型紙名： 型紙の名前を入力します。
- 枚数： 型紙の枚数を入力します。
- 板厚： 型紙の板厚を入力します。
- 材質： 型紙の材質を入力します。

- [型紙登録] …………… 型紙を型紙ファイルに登録します。登録後[データ入力]に戻ります。
- [型紙ファイル作成] …… 型紙ファイルを新規作成します。[型紙ファイルの新規作成]ダイアログが開きますので、作成する型紙ファイルを指定します。
- [型紙配置] …………… 型紙を図面に配置します。[ポスト設定]に進みます。
- [キャンセル] …………… [データ入力]に戻ります。

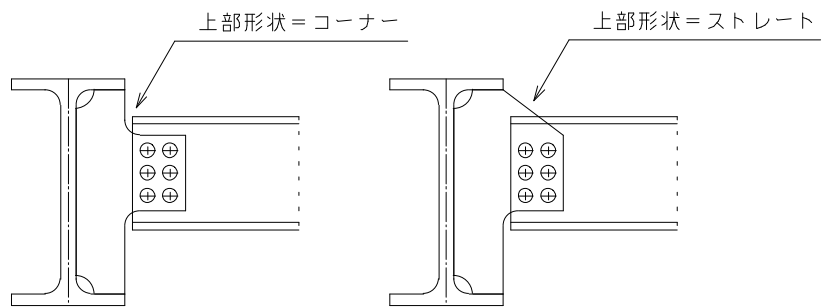
#### ポスト設定

これ以降の操作は[複合ポスト]を参照してください。

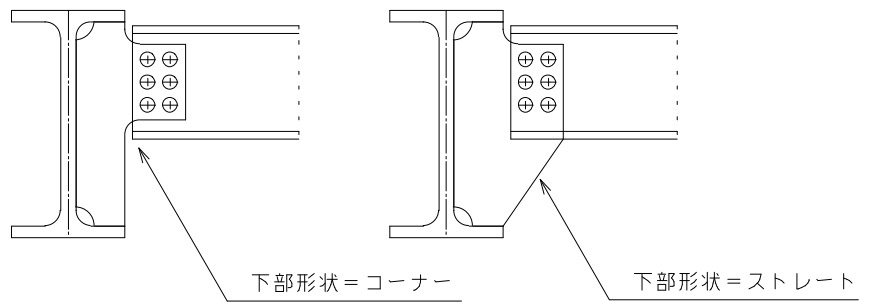
【図1】【小梁上下距離と小梁ずれ】



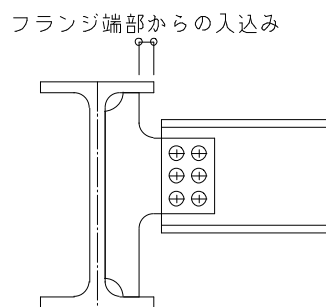
【図2】【上部形状】



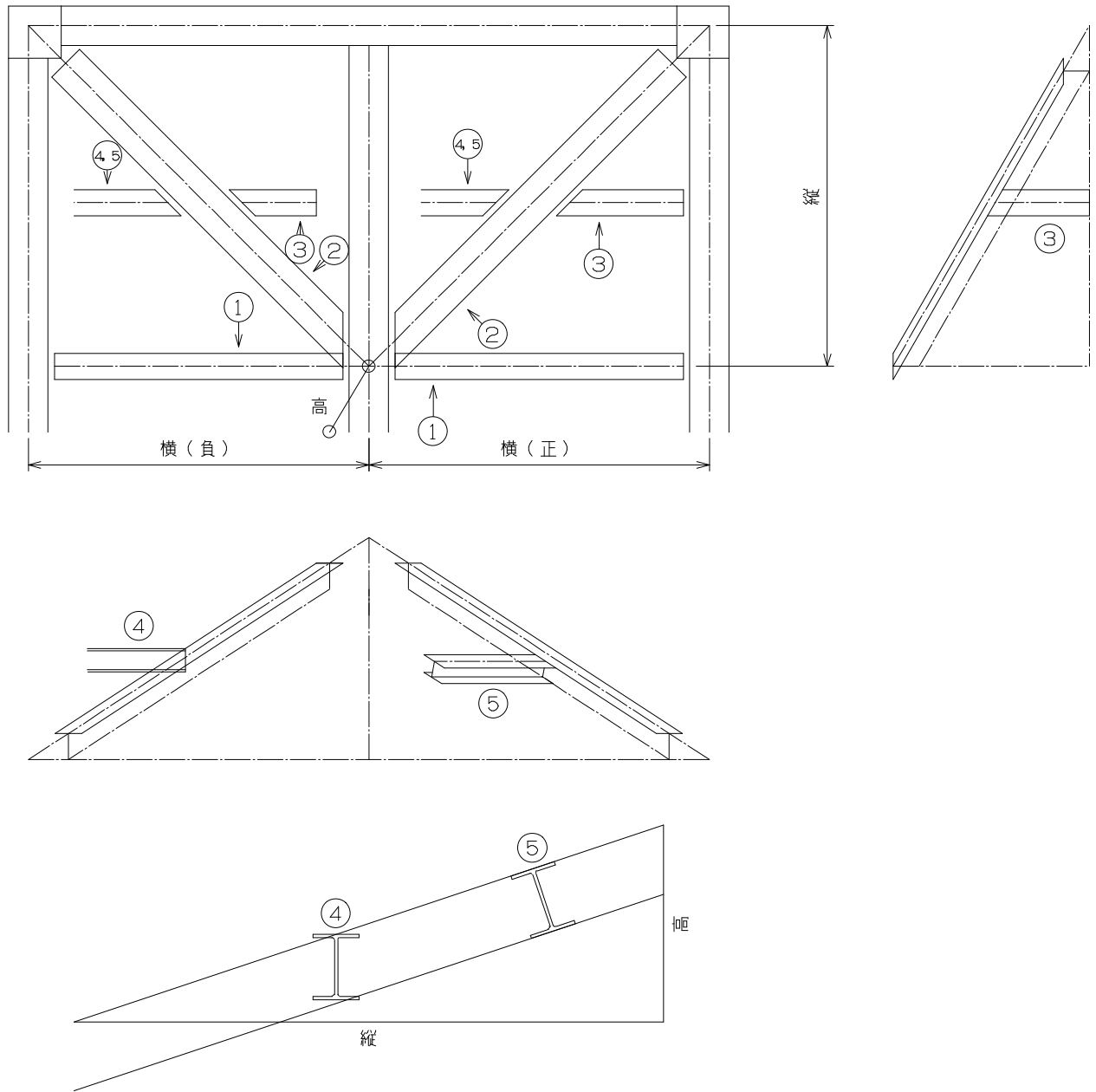
【図3】【下部形状】



【図4】【端部入】



【図5】【取付位置と寄棟寸法】



このコマンドは他の型作成のコマンドで図形を作成するときの共通な設定を行います。

[型紙設定]ダイアログが開きます。ダイアログの内容と操作は次の通りです。

#### 型紙記号

型紙記号の作図に関するデータを設定します。

##### 作図スケール :

型紙記号の作図スケールを指定します。スケールは、 / : 空白 のいずれかで区切って入力します。また、ドロップダウンリストにスケールの一覧を表示させて、その中から選択することもできます。

##### 型紙記号のフォント :

型紙記号のフォントが表示されます。フォントを変更するには、[...]をクリックするか、表示されているフォントをダブルクリックします。

#### 寸法線

寸法線の作図に関するデータを設定します。

##### 作図スケール :

寸法線の作図スケールを指定します。スケールは、 / : 空白 のいずれかで区切って入力します。また、ドロップダウンリストにスケールの一覧を表示させて、その中から選択することもできます。

##### 寸法線の形状 :

寸法線の形状が表示されます。形状を変更するには、[...]をクリックするか、表示されている形状をダブルクリックします。

##### 寸法値のフォント :

寸法値のフォントが表示されます。フォントを変更するには、[...]をクリックするか、表示されているフォントをダブルクリックします。

##### 寸法線との間隔 :

寸法線と寸法値との間隔を入力します。

##### 寸法値のスタイル :

3桁の区切りを付ける

寸法値の数値に3桁ごとの区切りを付けるか否かを指定します。チェックすると区切りを付けます。

##### 寸法値の小数桁数 :

作図する寸法値の小数点以下の桁数を指定します。[0] ~ [3]の中から選択します。

##### 足線の位置 :

寸法足線の開始位置を入力します。

##### 足線の長さ :

寸法足線の長さを入力します。

#### 線属性

型紙を作図するときの各線の線属性を設定します。線属性を変更するには、[...]をクリックするか、表示されている線属性をダブルクリックします。

型線 : 型線の線属性が表示されます。

内部線 : 内部線の線属性が表示されます。

## 鉄骨型紙アプリ

- 型紙記号 : 型紙記号の線属性が表示されます。
- 梁実線 : 梁の実線の線属性が表示されます。
- 梁中心線 : 梁の中心線の線属性が表示されます。
- 梁隠線 : 梁の隠線の線属性が表示されます。
- 寸法線 : 寸法線の線属性が表示されます。

### 作図例

現在の設定内容に基づいて作図したときの図形の例が表示されます。

- [OK] ..... 現在の設定内容を保存して、コマンドを終了します。
- [キャンセル] ..... 現在の設定内容をキャンセルして、コマンドを終了します。

## 第2章 メッセージ一覧

### 型作成

---

ボルト図形の読み込みができません。ボルト名：[図形名]

梁の勾配の入力が無効です。

寄棟寸法の入力が無効です。

型紙ファイルに同じ型紙名の型紙が登録されています。

メモリが足りません。

